

授業「小景異情」

平成30年5月7日（月）

1 野球応援にて

5月5日に三塁側の応援席で応援していると、かつての教え子や同級生が声をかけてくれました。教え子の一人は、子供を連れての応援でした。同級生の息子は、昨年度の野球部の3年生であり3月に卒業したばかり。昔話に花が咲きました。

2 吹奏楽部定期演奏会

先輩方もたくさん応援に訪れていただきました。また、男女共学一期生の吹奏楽部長であった古場君も応援に駆けつけてくれました。多様な生徒と多様な卒業生が、同じ演奏曲に向かって心を一つにする場面場面に心が熱くなりました。

3 しばらくぶりの授業

これから、自習の時間をいただいて、しばらくぶりで授業に出かけます。室生犀星の「小景異情」です。2年4組六時間目の授業です。物理の自習の時間をいただきました。

ふるさとは遠きにありて思うもの
そして悲しくうたふもの

この詩人は、帰りたいが帰れないふるさについて、「ふるさとは遠きにありて思うもの」と詩を読みましたが、君たちには、是非、帰ってきてほしいふるさがあると伝えました。伝わったかはいずれわかるでしょう。